



日本技術士会千葉県支部が発足して今年で6年目を迎えました。千葉県支部は1000余人の会員を擁する支部として会員の皆様の活動の場を広げられるよう、様々なことを試みています。その、一つとして千葉県支部は、「千葉商工会議所」と「千葉産業人クラブ」の会員になっていきますのでご紹介します。

「千葉商工会議所」は千葉市の商工会議所で市内の企業、個人事業者が会員となっています。千葉県支部はこの中の自由業部会に所属し、税理士、弁護士などが部会の

メンバーです。他に建設、工業など9つの部会があります。セミナー、見学会等を行っていますので、会員諸氏は「千葉商工会議所」のWebサイト(<https://www.chiba-cci.or.jp/>)をご覧になり興味のある行事がありましたら、各自、公益社団法人日本技術士会千葉県支部として申し込んでご参加ください。自由業部会以外の部会による活動にも空きがあれば参加できるとのことです。ご相談ください。

「千葉産業人クラブ」は日刊工業新聞社が主宰する団体で千葉県の地元企業が会員です。年に数度、講演会等を開催しています。同じくWebサイト(<https://www.chiba-cci.or.jp/>)に掲載されますので、ご興味のある行事があった方は私まで連絡をください。

また、「東葛テクノプラザ」で千葉県支部が技術相談をしている関係でイベントに参加できます。Webサイト(<http://www.ttp.or.jp/>)をご覧になり、ご興味のある行事があった場合は各自で公益社団法人日本技術士会千葉県支部として申し込んでください。

なお、これらの行事で会費が必要なものについては各自でご負担ください。

今後、技術士の千葉県支部が主催するCPDに類する案内が各所からあった場合は皆様に同報メールでお知らせしようと考えていますので、ご興味のある行事にはどんどん参加して、人脈を広げるとともに業務範囲を広げてください。

ロシア北極圏でのトラブルシューティング

笹口技術士事務所(株式会社 SPEC)
笹口裕昭(金属、建設、総合技術監理)



- ◆ 2017年4月24日から1か月弱、ロシア連邦ヤマロ・ネネツ自治区のヤマール半島の中央部東岸に位置するサベッタという町に行きました。サベッタは北緯70°の北極圏にあります。「ヤマール」とは現地ネネツ語で「世界の果て」という意味だそうです。
- ◆ 北極海沿岸には豊富なガス田が眠っています。ここに、今ロシアの天然ガスプロジェクトがいくつも計画されています。ただし多くのガス田が北極海の海底にある中で、このヤマール半島のガス田は陸地の地下深度に存在するため、採掘コストが有利でいち早く実現したプロジェクトです。一期工事が昨年完成し、12月には無事に最初の液化天然ガス(LNG)が砕氷タンカーに積み込まれました。
- ◆ このヤマール LNG プロジェクトは、露仏の資源開発会社がオーナーで、日仏3社のエンジニアリング会社がJVを組んで現場施工を管理しています。一期工事完了(MC: Mechanical Completion)目前の配管工事で溶接不具合が発覚し、その解決とスケジュールのリカバリーのために、日仏から溶接エンジニアを一人ずつ派遣する要請があり、日本からは私が現場に行きました。
- ◆ 業務の詳細は守秘義務の関係で説明できませんが、配管溶接部の溶接欠陥の原因と補修方法の確立、放射線透過試験の遅れを取り戻すための対策を、配管工事を行っているロシアコントラクターと一緒に検討し、対策を立て、現場業務を指導しました。5月とはいえまだ気温がマイナス20℃近い中、現場で片言のロシア語を駆使して、なんとか1か月でスケジュールを取り戻しました。
- ◆ このロシアの建設業者は、私が2004-2005年に、おなじロシアのサハリンⅡプロジェクトで約2年間一緒に汗をかいた会社です。その時に私が指導した溶接エンジニアが、このプロジェクトの溶接責任者に出世しており、他にも顔なじみのロシア人たちとまた顔を合わせるという幸運に恵まれました。そのため、とかくコミュニケーションがとりづらいロシアコントラクターと初めから意思の疎通ができたことが、勝因だったと思います。
- ◆ あいにく5月はほぼ白夜に近く、オーロラを見ることができませんでしたが、久しぶりに現場で食べたボルシチの味はとても美味しかったです。ロシアの天然ガスプロジェクトは今後も活況を呈してきます。「世界と日本の技術をつなぐ」をモットーに、世界のエネルギーの安定化にこれからも貢献していきます。



ヤマール現場にて、ロシア人フォアマンと

2017年 私の業務

- － 基礎自治体における災害情報システム導入に係る事業者選定支援業務 －
 - 一般社団法人 話力総合研究所 理事長
 - 防災支援委員会委員 兼 支部幹事 防災支援チーム
 - 防災士、防災・危機管理者 秋田義一(情報工学)



1. はじめに

某自治体において、災害情報システムを構築し、導入、運用するため、業務を担う担当業者の選定を行った。その際、業者選定を支援する目的で、自治体の担当職員に対して有識者として情報提供や資料作成を行ったので、その概要を報告する。

2. 業務概要

① 業務期間 平成 29 年 7 月～12 月

② 主な業務

・災害情報システムの現状についてヒアリング調査

主な業者の災害情報システムについて、その機能や特徴、利用方法、導入・運用方法などの説明を聴き、質疑応答により理解を深めた。このヒアリングをもとに、主要社の災害情報システムに関する比較表を作成した。

・担当業者の選定のための提案競技開催準備

ヒアリング調査を踏まえ、自治体の実情にあったシステム仕様(機能要件)案を作成した。また、機能要件に従って、業者選定の審査ポイントを記した審査表案を作成した。

・提案者の提案書に補足意見を記載

重要なポイントや考慮すべき点が、自治体の担当職員がわかるよう各社の提案書をすべて読み、コメントを付した。

③ 成果

提案社の募集や、提案競技が短期間に実施でき、提案書の審査後、複数の候補社によるプレゼンテーション、デモンストレーションを経て、スムーズに担当業者の選定が行えた。現在、本自治体では、選定した業者と共に、新システム構築のための設計を行っている。

3. 業務を終えて

自治体の担当者は、情報システムの専門家ではなく、また災害時の情報の収集、情報システムの活用についても十分な経験があるわけではない。そうした中で、多くの業者の説明を聴いても、それが事実か、何が重要か、どのような課題が内在しているか見当がつかない。

それゆえ、専門的視点からのアドバイスが必要である。また、単に機能や技術面だけではなく、システムの利用者である自治体の職員によりそったアドバイスが重要である。また、どのようなシステムを導入するにしろ、それぞれに長短がある。それらを明らかにしたうえで、自治体がより良いシステムを導入できるようアドバイスすることが肝要である。そういう姿勢で業務に臨んだので、現場で役に立つシステムを導入するうえで、それなりの貢献ができたものと考えている。

はじめての書籍単独執筆

『現場で使える発泡プラスチックハンドブック』

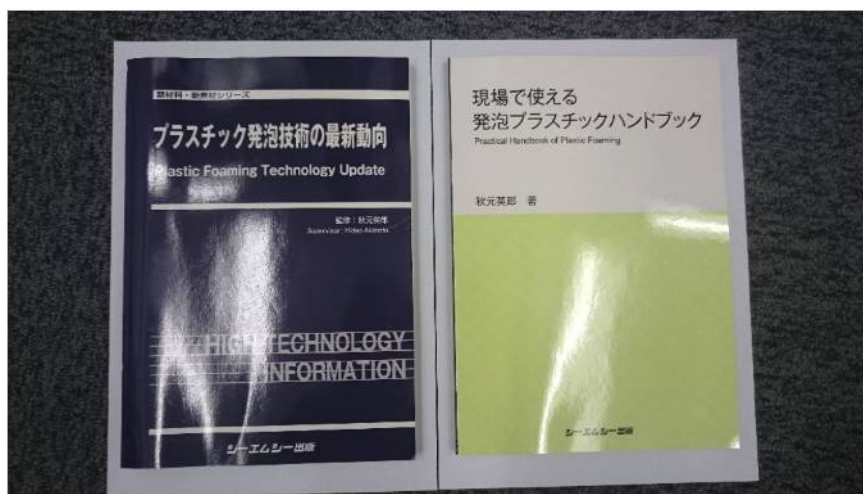
秋元技術士事務所
秋元英郎(化学部門)



これまで書籍の執筆といえば、6～8万円もする専門図書の分筆が多かった。会報第3号で紹介したように、2015年には私が監修した『プラスチック発泡技術の最新動向』が発行された。

実は、前述の『プラスチック発泡技術の最新動向』が発行されてすぐに、同書の編集者から、お一人で1冊執筆してみませんかとお誘いがあった。原稿はある部分は使いまわしで構わないとのことであった。

分筆と違い、得意な分野だけではなく、決して得意とは言えない分野についても「専門家」のレベルで執筆しないといけないプレッシャーがあった。毎月1章のノルマを突き付けられ、北海道の温泉に泊まり込んで執筆に集中したこともあった。途中で予定よりもページ数がずいぶん少なく、ページ数を増やすためにフォントを大きくしてもらったなどの苦勞の末に、半年くらい予定から遅れて2017年9月に発行にたどり着いた。



写真左:2015年に監修した書籍、右:2017年に単独執筆した書籍

書籍の執筆は原稿料収入が目的ではないので、原稿料は気にしていなかったが、実際に入金されたのは約16万円であった。コンサルティング報酬の6時間分にしかならないと思うと複雑な気持ちである。

平成29年 技術士事務所 活動報告

技術コンサルタントとしての取り組み内容とその成果

竹内技術士事務所 所長
竹内利一(機械部門)



平成29年は、技術士事務所として、技術コンサルタント、技術鑑定、セミナー講師、補助金申請といった活動を行いました。

■技術コンサルタント

生産性向上をテーマに、以下の技術コンサルタントを行いました。

A社 取り組み内容:製品製造コストの低減

成果:金額は集計中(材料重量半減、組立工数低減等で数百万円/台の成果が見込まれる)

B社 取り組み内容:新製品の開発

成果:新製品開発のため試作品のサンプル作成、今後設備の検討を行う(現在取り組み継続中)

C社 取り組み内容:労働生産性の向上

成果:QCサークル活動を一緒に行いアドバイスすることで労働生産性が20%向上

D社 取り組み内容:稼働率UPによる赤字からの脱却

成果:QCサークル活動を一緒に行いアドバイスする(現在取り組み継続中)

E社 取り組み内容:製品倉庫の在庫半減による倉庫の製品置き換え作業時間の短縮

成果:作業内容、生産能力、出荷量等の検討により在庫を半減し、2H/日の作業時間を短縮

F社 取り組み内容:不良低減による生産性の向上

成果:設備のエラー内容を分析し、対策効果の大きいエラーを対策する(現在取り組み継続中)

G社 取り組み内容:ロボットのオフラインティーチングによる生産自動化

成果:オフラインティーチング用の3DCADの指導(現在取り組み継続中)

■技術鑑定

プレスやマシニングセンタといった工作機械やクレーンの事故等、10件の技術鑑定を行いました。

■セミナー講師

チョコ停対策や自動化設備の生産性向上をテーマに月1~2回のセミナーを行いました。そのうち2回は、韓国で実施しました(写真は韓国でのセミナーの様様)。



■補助金申請

最新の機械やIoTの導入を目的に、計15社の補助金申請を行いました。

以上

「エンジニアのための話し方」

技術士(情報工学部門)秋田義一

■内容

(1)はじめに

光栄にも「話し方」についてお話しする機会をいただきました。

30年以上も前のことです。顧客や職場の上司、部下に私の思いや考えなど、十分に伝わらない。そのもどかしさは、エンジニアとして経験を積みれば積むほど大きくなりました。そのような時、新任管理職研修に参加し、「話力(話す力、聴く力)と人間関係」と題する講演を聴きました。以来、約30年、話し方、聴き方について勉強を続けてきました。これまでの経験から、限られた字数ではありますが、皆様の日常や仕事に役立つ情報提供ができれば幸いです。

(2)コミュニケーション能力が仕事の成果を左右する

① トラブルの原因はコミュニケーションエラー

日常でも、仕事でも多くの場合、人とかがかりを持ちますね。そうすると、時には不快なこと、不満に思うこと、些細な行き違いから人間関係がぎくしゃくしたりします。トラブルに巻き込まれることもあるでしょう。多くの場合、そうしたことのきっかけは、「コミュニケーションエラー」です。思ったことが十分に言えない。正確に伝えられない。ひとこと多い。話す時の態度が悪い。あるいは、相手の話を聴かない。正確に受け止められない。真意をつかめない。聴く時の態度が悪い。大事故につながりかねないコミュニケーションエラーを減らすために毎年研修を行っている航空会社や大病院があるくらいです。

② うまく話せればいいのか？

では、上手に話せればいいのか？たとえば、初めて会った人に、すらすらぺらぺら話しかけられたら、どう思いますか？「ずうずうしいな」「なれなれしいな」などと多少不快に感じることもあるでしょう。何かについて説明を受ける場合、説明者がすらすらぺらぺら話したらどうでしょうか？そんなに一方的に話されてもわからないですよ。無視された気がして不快に感じる人もいます。反対に、とつとつと、つかえながらでも、ゆっくり確実に話を伝えようとする人に対しては、親しみを感じ、応援したくなりませんか？支離滅裂は困りますが、順序だてて話してくれれば、納得させられもし、場合によっては心に響いてきませんか？話し方がうまければよいというものでもなさそうです。

多くの場合、話すからには目的を持っていますね。何のために話すか？ですね。たとえ上手に話しても、目的を達成できなければ、独り言と変わらないのです。話は、上手に話すことが大切なのではなく、目的を達成して話した効果があがるように話すことが大切なのです。例えば、協力してもらおうと思って、どんなに上手に話しても、相手が「しつこい！！」と怒ってしまったら、場合によっては話さないほうが良かったということになりますね。

(3) 話の効果をあげるには？

効果的に話すためには、話し方の問題だけではなく、相手との人間関係が大切です。同じように話しても好意的な関係が築かれているか否かで、おのずと結果は違ってきますね。日頃から、周囲との好意的な人間関係を築いておくことが話の効果を上げるための大前提です。好意的な関係が築けていれば、ちょっとした失言があっても、肯定的にとらえてもらえますよね。

そして、実際に話す時は、次の点を意識なさってくださいと思います。

(4) 効果的な話し方

① 目的を意識して話す

多くの皆さんが話したいことを話してしまう傾向にあります。話が長くなって、聴き手をうんざりさせてしまいかねません。話は相手に応じて、効果が上がるように話す。話す前も、話している途中も何のために話すのか、何のために話しているのか、目的を忘れないことです。

② 効果を予見して話す

こう話したら、聴き手からどういう反応があるだろうか、わかってもらえるか、などと先を見通しながら話すことです。失言癖のある人は、ことばを発する前の「効果を予見する」プロセスが足りないのです。

③ 必要の法則に従う

必要な時に、必要なことを、必要なだけ、必要な人に、必要な方法で、必要な場で話すことです。

タイムリーに過不足なく、話す相手の順番を間違えずに。メールでもよいのか、電話すべきか、直接会って話すべきか適切に対応することが肝要です。話す場についても気配りが必要なこともありますね。

④ 効果をあげるための表現の三原則を守る

表現の三原則は、聴いてもらうためには「感じよく」話す。誤解させないように「正確に」話す。わかってもらうために、「わかりやすく」話す。特に、エンジニアの皆さんには、とげとげしくならないように「感じよく」と、相手に応じて「わかりやすく」をお願いしたいです。具体的にどうしたらよいかは、機会があればまたお話ししたいと思います。感じが良いか、わかりやすいかを決定するのは聴き手です。独りよがりにならないよう、聴き手の気持ちに立って話すことが大切です。

(5) まとめ

申し上げたいことはまだまだたくさんありますが、話の効果を上げるため、聴き手に対応して工夫しながら話す意識を少しでもお持ちくださればと思います。

話し方、ことばづかいについては、私が監修したサイトがありますので、ご覧になってくださればと思います。また、毎月1回「話力講座」を開催しています。コミュニケーション能力を磨きたい方は、ぜひご受講ください。

<http://fujifilm.jp/business/future-clip/talk/vol4.html>

<http://fujifilm.jp/business/future-clip/talk/vol3.html>

<http://fujifilm.jp/business/future-clip/talk/vol2.html>

<http://fujifilm.jp/business/future-clip/talk/vol1.html>

★「大丈夫？あなたのことばづかい」

<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz02/kotoba.html/>

★「話力講座」 <http://www.waryoku.com/>



撮影：田村裕未 氏

秋田義一 技術士(情報工学部門)

一般社団法人話力総合研究所理事長。話し方、聴き方、ビジネスコミュニケーション、人間関係等に関する研修や講演を担当。また、話カインストラクターの教育指導にあたる。

国士舘大学理工学部講師(非常勤 空間情報学、情報科学、コンピュータシステム)、
産業能率大学マネジメントスクール講師。

霞が関ナレッジスクエアアドバイザーメンバー。

公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会 委員 兼 千葉県支部幹事。

千葉県東葛テクノプラザ技術相談員。

「セミナーの講師として、話し方その他の気を付けているポイント」

機械部門 竹内利一

私の業務メニューの中に、セミナーの講師がある。おおよそ月 1 回のペースでセミナーを行っている。昨年の実績は、韓国での 2 回を含めて、年間 13 回開催した。内容は、主に自動化設備の生産性向上をキーワードに、自動化設備の導入のノウハウから、チョコ停対策、設備保全まで、生産性を向上させるためなら何でもありの内容である。

セミナーは 1 日 6 時間というケースが多い。というのも、それより短いとどうしても、説明不足で言葉足らずになってしまうからである。この記事をお読みの方のなかで、ゆくゆくは自分もセミナーの講師を試みようとお考えの技術士の方も少なくないのではないかと思います、今回はセミナーの講師を務めるときに私が注意していることを述べることにする。

まず重要なことは、参加者のレベルである。同じ自動化設備の生産性向上といっても、新人に説明する内容とベテランに説明する内容では、大きく異なる。そこで、開催前に受講者がどのような職種で経験年数が何年かということを事前に調査する。けれども、全員が新人とか全員がベテランなどということはないので、その中で一番多い経験年数の人たちを基本に話をする。

次に気を付けることは、例えば中堅クラスを基本に話すといった場合に、その中に新人が何名かいるといったケースでは、話が理解できているか、ところどころ新人の方に質問をして、その理解度を確認する。

また、その逆のケースもある。新人の受講者が多い中にベテランが何人か混じっているという場合は、逆にベテランの方が退屈しないように、講義で言わんとしていることを経験したことはありませんかと、体験談などを質問したりする。

それから、1 日のセミナーでは、昼食後に受講者が眠くなるという大きな問題がある。そこで、昼食後の時間帯には、講義に関連する動画などを用意することで、単に話を聞くだけという状態から目先を変えることにしている。印刷したテキストを紹介する以外に用意した写真や動画を紹介するということは、著作権の関係で印刷できないような内容を紹介できるというメリットもある。

それから、話はなるべくゆっくり話すようにしている。ただしセミナーにはテンポというものがあるので、やみくもにゆっくりというわけにもいかず、この辺の自分に合ったペースというところは、経験によるところが大きい。そこで、いきなりセミナー講師をやるのではなく、技術士会の部会や自分が参加している会合の中で 1 時間程度の講演をして、自分のペースを知るというのも役に立つ。

そして、パワーポイントには、なるべく図や表を多くするように努めている。文字ばかりでは、当然のことながら受講者にあきられてしまい、ビジュアルな内容の方が理解もしやすい。

いつもこのようなことに気を付けながら、毎月セミナーを行っている。

賛助会員紹介

会社概要

会社名等 有限会社ケイエムアイエスオー
代表取締役 橋爪静雄
〒121-0813 東京都足立区竹の塚 2-21-16
TEL03-5851-8121 FAX03-5851-8086
URL <http://www.kmiso.com>
資本金 5,000 千円

事業内容 ① マネジメントシステムコンサルタント
「各種 ISO 認証取得・維持支援」
② 建設コンサルタント
「道路交通調査・解析業務・整備効果検討業務ほか」
③ 公共施設管理業務コンサルタント
「学校管理業務、指定管理者事業計画書策定支援」

コメント 当社は従業員(親族外)に経営を引継ぎ、10 年目となります。
小規模法人、コンサルタントとしての在り方や課題に取組み、企業価値の維持向上を目指しております。千葉県支部の発展のため、地域の経済社会の発展ならびに科学技術の向上に少しでも貢献できますよう、支部の諸活動をご支援してまいります。

【アクティブ 45+】 仕事以外の分野で若者に負けない活発な活動をしている会員を紹介するコーナーです。

アクティブ45+

この企画は仕事だけではなく、いろいろな活動をしている技術士を紹介するコーナーです。45歳は「青年委員会」の参加資格が無くなる年齢ですが、青年の心（時として少年の心）を持ち続けることは、仕事の質を高めるためにも重要なことです。

「世界を旅する」

矢野知隆(経営工学)

私は年に3~4回ほど目的の無い旅に出る。その旅は、現実に世界各地だったり、突然専門外の資格挑戦だったりする。「なぜそんな無謀な旅をするの?」「それで人生がどう変わったの?」「技術士指導の機会にどう役立つの?」と尋ねられることがある。この質問自体が私には不思議でならない。

私の感性では、「何故、通い慣れた道のみを歩き、全てに因果関係を求める人生は何が楽しいの?」「高い頂点は広い底面の上にあるのよね。高い頂点=ひらめきは、広い底面=豊富な目的曖昧経験が繋がった瞬間に起きるんだよね」「あみだくじを当たり側から逆引きして始点選択する手法は、結果論の時だけでしょ。沢山選択したら、どれか当たり出る確率増えるじゃない」

以下、最近の旅の一つパタゴニアの見聞録(リアルタイム読者100人)の抜粋を掲示します。これがどんな意味を持つか、この派生で何が変わったか、などを問わないで頂きたい。そんな問いはせつがち技術士の悪い癖だ。人生も技術もそれほど唯物的でない。どんな意味があったかは、私が墓場に向かう直前に、結果論として振り返るのかと思います。

(墓場前ながら、今敢えて言えば、この旅で得られた教訓は「塩湖で見るべきは塩ではない」でしょう。「唯物的で目前の目的を求めているは塩しか見えない者になってしまうよ、そこからは何も生まれないうよ。」でしょう。)

-----20170.12.14 サンディエゴ@チリ

リアルタイム同行読者から、「何故パタゴニアに」の質問が多数あった。

アフリカで4人の母から産まれたホモ・サピエンスが、陸地を巡り巡って辿り着いた先が南米大陸の先端パタゴニア。即ちパタゴニアに行くことは、長い人類の探訪歴史に想いを馳せることに他ならない。そこに山があるから登りたくなり、それをスカートで隠すから捲りたくなる、人類の性の結末がパタゴニアにあるに違いない。そんな気分で来てしまった。人類の好奇心は何処まで行くのだろう。俺の好奇心の対象はそこだ。今はサンチアゴ@チリ。トランジット待ち。まだブエノスアイレス迄3時間かかる。

.....

-----2017.12.17 サリーナスグランディス@アルゼンチン

スペイン語でサリーナスは塩湖、グランディスは広大。一昨年はウユニ塩湖@ボリビア、昨年はチャカ塩湖@中国を経験した。ウユニは玄妙、チャカはチャラの違いはあれど、乾期に水深 10cm 程の塩水ミラー効果を楽しむ。今回はサリーナス@アルゼンチンだ。腹ほら標高 1100 のサルタから 60km。標高 4200 山越えで 3700 地点の広大な塩盆地。乾期の今は水無くミラー効果は無い。雨季は水深深くて入れない。これもまた一興。

おきまりのトリックアート。この平原に見渡す限り 5 人だけ。ベストシーズン日曜日に。塩風が目に沁みる。観光開発に至っていない。其れがまた良い。風の色が良い。



因みに山岳塩湖はこうやって出来る。・雨が降り、山々からミネラルと共に雨水が染み出す。・その水が谷間に溜まる。それを高原太陽が水のみ蒸発させる。ミネラルだけ溜まる。それを数千万年繰り返す。ミネラルはミルフィーユ状態で堆積して大平面になる。・即ち塩湖は、その地域のミネラル分を自然の力で数百万倍に集約したもの。偶々最大析出物が NaCl と言うだけ。

「海が隆起し、海水が干上がって、塩が堆積した」ではない。死海とは異なる。従って水溶性鉱物資源は、山を掘ったり、海水集めたり、よりも塩湖掘れば数百万倍の効率向上になる。リチウムもインジウムもこれ。中国人は、自国のレアアースマイニング支えて新羅の過程でこれを知った。だから自国資源は乱掘削せず、海外塩湖を求めて歩いているのだ。10 年以上前から。資源ナショナリズム概念が囁かれる前から。

電気自動車や表示デバイスのキー素材のリチウムとインジウムを独占する仕組みを作ったら世界を牛耳れる。韓国も日本も欧米も、ハイテク産業は、中国の手の平に乗ることになる。

塩湖で見るとべきは塩では無い。

.....

-----2017.12.20 カルファテ@アルゼンチン

パルママルカ 18 時 2500 標高 30 度～カルファテ 10 時 0 標高 6 度、のアルゼンチン北南 5000km 移動。心身耐久レースを超え、やっと目的の地パタゴニアへ着いた。民族の、プレインカ、インカ、スペイン、混血一帯、一攫千金狙い外血、の 1000 年歴史を、半日で通り過ぎた。無垢チビ黒から猜疑デカ白へ。この後に、今は皆無の中国血が入り混んで来て、また異なる顔と文化に移って行くのだ

ろう。そこに資源=金の元、未知=期待、が有りさえすれば移動が起きる。人類の欲望への旅は限りない。半日でそれを実感できる。

パタゴニア中心都市カラファテ。かつては牧畜民の中継地。今は2万人の観光都市。東洋人は中国人2家族のみが暮らす。初夏の太陽が心地よい。白夜の季節。

パタゴニアの気候は厳しい。この氷河が海に崩れ落ちる轟音で理解出来よう。何故か人類の未来を感じさせる。ゴーギャンが絶海の孤島タヒチで感じたごとく、俺の問いは「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」にある。人類への問いであり、自身への問いである。何故か涙が溢れて来た。



.....

ここで一部の方々から質問のあった、中国とアルゼンチンの関係を述べておこう。

・2002年に、アルゼンチンがデフォルト(債務不履行)で、資金国際調達不能になった。その時に積極的に貸付をしたのが中国である。返済はマネーでなく、農産物や権利や土地貸与である。それ以降両国政府は蜜月関係にある。

・アルゼンチンで生産する大豆の50%は中国向けである。ブエノスアイレスの、新規地下鉄の車両

は中国製である。アルゼンチン国内に、中華系スーパーが既に16000軒点在し、増加し続けている。

ネウケンにある天体観測所、そしてサンタクルス州のダム工事も、中国資本である。塩湖周辺の

レアアース目論見は既に述べた。

いずれもアルゼンチン国家の許認可事業である。

・特にネウケンの天体観測所。大型アンテナ・観測・データ収集拠点は、土地と運用が中国に委ねられている。広大な敷地は壁で仕切られ治外法権化している。明らかに中国軍事基地となっている。

・もう一件パタゴニアに同様基地が、極秘裏に建設されている。これが出来ると、フィリピン沖海洋基地と相まって、中国軍は地球を全てカバー出来る。給油を全て自分の基地で閉じられる。南極の地

下資源アプローチも考えているのかも知れない。

(技術士海外支援として、)中国にモノづくりの基本を日本から教えに行こう、などと言うのは御門違い。
日本こそ、中国から戦略的国際感覚を、学ぶべきだろう。

さて帰路だ。気温 7 度ともお別れ。まずはブエノスアイレスまで。パタゴニアは未開の地だ。未だに人類の思惑と好奇心の最先端にいた。……

【編集後記】

今年は4月を前に桜が散り始めるという異状気象にみまわれておりますが、千葉県支部会報7号を昨年引き続き春に発行いたします。前回に引き続き、今回も技術士の皆様に役に立つ情報を提供し、また技術士の活躍する事例をできるだけ紹介し、皆様の今後の活動の参考に供することになればと考えております。来春の会報も同様な企画を予定しておりますので、「2018年私の業務」を募集の時は、皆さんからのたくさんの応募をお願い致します。

この会報についてご意見を chiba●engineer.or.jp までお寄せください。

(※迷惑メール防止のために「@」を「●」に換えて掲載しています。ご連絡の際は、「●」を「@」に書き換えて送信してください。)

(竹田雅美)



日本技術士会千葉県支部会報 Vol.7 (2018)

編集人 日本技術士会千葉県支部広報委員会

委員長 秋元英郎

発行人 支部長 川畑真一

発行日 2018年3月31日

発行所 公益社団法人 日本技術士会千葉県支部

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-7-10 シャンボール千葉中央 2階 206号

[日本技術士会 千葉県支部の Web サイト](http://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/)

http://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/